



南関町議会議長
立山秀喜

議員定数が10人に ～2月の町議会議員選挙から定数減

昨年は全国各地で大きな災害が発生しており、地域の皆様には大変なご苦労をされていることと思います。心よりお見舞い申し上げます。

県内においても8月の豪雨災害では、玉名市、玉東町、八代地域で大きな被害が出ました。本町からも災害復旧に対して職員数名が派遣されました。幸いにも本町では、大きな被害はなく、心配していた台風の被害もなかったことで、安堵されているかと存じます。

皆様、新年明けましておめでとうございます。町議会を代表し、新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には平素から町議会に對しまして、温かいご支援とご理解を賜り、議員一同厚くお礼を申し上げます。

議会におきましては、「開かれた議会」の理念のもと、役場こもれびホールでのテレビ中継に加え、インターネットによる議会生中継および録画配信をスタートさせました。さらに、議会定例会、全員協議会などにおいては、タブレット

でも安心して生活ができるような政策を願うものであります。本町では、南関版コンパクトシティ構想を進めており、既に役場新庁舎が完成し、「うから館」の愛称をローマ字表記の「ukara」としてリニューアルし、10月8日（つばの日）にはカフェの開業と新図書館（このみち）も開館しました。

また、同日には町政施行70周年記念式典を開催し、先達の残された功績を称えるとともに次の世代へ繋ぐこれからの南関町を考える良い機会と捉え、次の10年に向かう新しい流れとしたところであります。

また、昨年の南関町を振り返りますと、1月4日に「二十歳の集い」が催され、79人が二十歳を迎えました。旧友との再会では、記念撮影や思い出話にたくさんの方が咲きました。1月11日には、恒例の「消防出初め式」が行われ、防火・防災意識を高めました。3月1日と2日には「なんかん大陶器まつり」が防災広場を中心に開催され、町内外から多数の来客が訪れ、まつりを楽しまました。

10月8日には「町政施行70周年記念式典」が多くの方の町民及び来賓を迎え、盛大に執り行われました。同時に南関町交流拠点施設（ukara）がグランドオープンし、図書館やカフェを併設した複合施設となりました。今後、町の交流拠点となり発展していくことを期待しております。

議会におきましては、「開かれた議会」の理念のもと、役場こもれびホールでのテレビ中継に加え、インターネットによる議会生中継および録画配信をスタートさせました。さらに、議会定例会、全員協議会などにおいては、タブレット

また、総務産業常任委員会では、神奈川県寒川町へ視察研修で東京の議員会館を訪れ、熊本県選出国会議員への要望活動を実施しました。要望の内容は、国道443号線の道路改良と進捗状況について、農業基盤整備における中山間地域に於いた施策を講じることを求めています。

さらに、文教厚生常任委員会では、神奈川県寒川町へ視察研修し、教育、福祉、介護において先進的な施策を実行していることを学び、町への施策に反映させていきたい所存です。

また、11月には議員視察研修で東京の議員会館を訪れ、熊本県選出国会議員への要望活動を実施しました。要望の内容は、国道443号線の道路改良と進捗状況について、農業基盤整備における中山間地域に於いた施策を講じることを求めています。

さらに、文教厚生常任委員会では、神奈川県寒川町へ視察研修し、教育、福祉、介護において先進的な施策を実行していることを学び、町への施策に反映させていきたい所存です。

トを導入したことで、議会のデジタル化が進み、各種情報が共有化されるほか、ペーパーレス化で経費削減にも寄与しております。

そのような新しい取り組みの中、9月定例会において、議員定数条例の改正が可決され、議員定数が12人から10人となりました。

- 南関町議会
- | | |
|-----|-------|
| 副議長 | 立山比呂志 |
| 議員 | 山口純子 |
| | 境田敏高 |
| | 井下忠俊 |
| | 杉村博明 |
| | 中村正雄 |
| | 西田恵介 |
| | 矢野修一 |
| | 伊藤博長 |
| | 福山美佳 |

結びに本年が皆様にとりまして、希望に満ちた輝かしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本年2月には町長及び町議会議員の選挙が行われ、議員は10人となりますが、今まで以上に決意を新たに奉職してまいる所存でございます。引き続き町議会へのご理解とご協力をお願いいたします。

もっと・もっと住みやすい町に！



南関町長
佐藤安彦

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、ご家族お揃いで希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

昨年は、全国で豪雨被害や地震被害の発生など、災害の発生が当たり前のよう感じました。南関町においては、災害が少ない落ち着いた年であったように思います。

しかし、災害は時期・時間に関係なく発生します。今後とも気を緩めることなく、町民の皆様との防災に対する認識の共有を図り、更に減災に向けた取り組みを進めるとともに、「コロナ禍からの6年ほどで私たちを取り巻く環境や経済状況も大きく変わっておりますので、引き続きの対策を図っていく必要があると考えております。

国においては、日本で初めてとなる女性の高市総理が誕生し、連立与党の相手となる政党も公明党から日本維新の会に変わりましたが、中国との関係悪化が貿易や観光面にも影響しておりますので、今後も、国民の生活を重視した地方創生等の取り組みを行っていただきたいと思います。そして、誰もが、どこに住んで

いても安心して生活ができるような政策を願うものであります。本町では、南関版コンパクトシティ構想を進めており、既に役場新庁舎が完成し、「うから館」の愛称をローマ字表記の「ukara」としてリニューアルし、10月8日（つばの日）にはカフェの開業と新図書館（このみち）も開館しました。

また、同日には町政施行70周年記念式典を開催し、先達の残された功績を称えるとともに次の世代へ繋ぐこれからの南関町を考える良い機会と捉え、次の10年に向かう新しい流れとしたところであります。

また、10月16日には、ukaraにおいて、全国からの参加者により「元氣高齢者によるまちづくり実践研究会」南関町が開催され、南関町の介護予防リーダーをはじめ約180名の皆さんにより「健康寿命日本一」のまちづくり宣言」が行われ、大変盛り上がりしました。

今後は、町としても検診体制や介護予防事業の更なる強化を図っていかねばならないと考えております。

さて、町では、町実行委員会主催による「大陶器まつり」や「ふるさと開所まつり」のほかにも住民団体を応援する提案型助成事業やマルシェ開催事業への補助を令和4年度から実施しており、今年度もたくさんの方の特色ある事業が実施され、町内外から多くの皆様に「来場いただき、元氣あふれる南関町になつてきていると感じておりますので、今後も、南関町のすばらしさを多くの皆様に

知っていただく機会としていきたいと考えております。

そのほかの事業としては、農村広場には本年3月完成予定で遊具を設置した芝生公園としての整備や旧役場・公民館の建物を解体して、民間活力を活用するPFI事業での地域優良賃貸住宅の建設など、様々な事業を展開しておりますので、町民の皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和6年度より設置している「南関町立学校の在り方検討委員会」では、町立学校のこれからの教育や少子化に対応した新たな学校規模などの学校の在り方についての協議をしていただいております。今年度内には検討委員会としての答申をいただくこととしておりますので、その後、町としての学校の在り方についての方向性を示していくことになると考えております。

町の企業誘致等の動きとしては、国の地方創生の動きを重視し、人口が減少しても稼げる、そして、町民の皆様の幸福度が高まる町として、若者や女性にも選ばれるまちづくりに取り組んでいかなければなりません。

現在、町では製造業はもとより、衛星通信施設や新しいエネルギー事業・データセンターの誘致など、大きな税収が見込める企業の誘致を進めるとともに、民間の活力で新しい工業団地整備も進んでおりますので、引き続き、企業の立地・増設・雇用の場の確保に努めていきたいと考えております。

また、これまでの企業立地等の

効果もあり、令和6年度の町税収入額が初めて14億円を超え、昨年度に続き過去最高額を更新することができました。

関係企業や農業・商工業等に従事されているすべての関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、今後も、これに満足することなく、町税収入額を現在の14億円から20億円を目指すための企業誘致・産業の振興に取り組みたいと思います。

町の大きな課題でもある人口減少と少子高齢化対策については、厳しい状況ではありますが、町振興計画や地域未来構想により、「魅力づくり」「住む場所づくり」「拠点づくり」「人づくり」の4点突破ですべての町民の皆様が安心して暮らせる協働のまちづくりを推進し、魅力があるより住みやすい町を目指して参ります。

私自身も、防災対策や定住対策・少子高齢化対策、働く場所の確保など、更に安全・安心な暮らしやすい町となるよう、トップセールスも含めて職員と一丸となり全力で取り組んで参りますので、皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、南関町の更なる発展と今年が皆様にとりまして良い年になることをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

- 副町長 坂田 浩之
教育長 永杉 尚久